

地域防災学習交流会を開催しました

福島連合自治会が音頭をとって東京都主催の地域防災学習交流会を 1 月 25 日福島自治会館で開催しました。テーマは「地域の危険を知って始める防災活動～防災マップ（ハザードマップ）の作成とその活用～」で講師は筑波大学の梅本通孝講師でした。43 名の参加者があり有意義な学習会となりました。

学習会では防災マップを手作りする意義は ①住民自らによるわがまちの見つめ直し ②多様な人々による気づきと情報の共有 ③災害時に的確に対応・行動するためのセンスの向上 ④地域における防災・減災の取り組みのきっかけ であること、そして観賞用の作品を作ることが最終目的ではないなどのお話がありました。

続く交流会では現存する町の写真を示しながらどのような危険が潜んでいるかを参加者に指摘してもらい、町を見つめ直す際の注目点を学びました。

今後は学んだことを実行に移さなければなりません。

昭島消防署から平成 25 年中の市内の災害発生状況の発表がありました

火災件数 37 件（昨年比+6）

火災による死者 2 名（同+1）

救急件数 7,958 件（同-215）

出火原因の 1 位は放火、2 位はたばこ、3 位はガステーブルなどだそうです。

家庭用品バザーにご協力有難うございました

主催者の昭島のおすを創る協議会の発表によると提供された品物は 3,569 点、売上金は 522,660 円となり、売上金は社会福祉協議会への寄付及び協議会の活動に活用するそうです。

立川基地跡地周辺を巡るまちあるきを実施します（詳しくは別紙をご覧ください）

立川基地跡地が現在急ピッチで再開発工事が進められています。福島町とも深いかわりがあったこの地が大きく変貌する前に、跡地の変遷や開発工事が進む今そして今後の姿を見据えることを目的に立川基地跡地周辺を巡るまちあるきを福島連合自治会が企画しました。ご近所お誘い合わせの上多くの皆様のご参加をお待ちしています。

大雪の夜の突然の停電

2 月 8 日夜大雪が降っている最中、福島町 1～2 丁目、玉川町 3～5 丁目など約 2,300 世帯で 19 時 38 分頃から停復電を繰り返した後約 1 時間にわたり停電があり、復旧したのは 20 時 58 分でした。東京電力の発表によると原因はお客様敷地内の設備トラブルの影響とのことです。

照明、暖房、給湯など電気に頼っているものはすべて使えず、またいつ復旧するかの情報がないため不安な時間を過ごしました。

東日本大震災の時被災された皆さんは劣悪な環境下で何日も、何週間も耐えなければならなかったことを思うと、その心境やいかにばかりか想像が付きません。